

再評価結果（平成24年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道・防災課
担当課長名：三浦 真紀

事業名	地域高規格道路 上信自動車道 一般国道353号 祖母島～箱島バイパス	事業区分	一般国道	事業主体	群馬県
起終点	自：群馬県渋川市祖母島 至：群馬県吾妻郡東吾妻町箱島	延長	4.0 km		
事業概要	上信自動車道は、群馬県の沼田・渋川地域集積圏と長野県の上田地域集積圏との連携を強化するとともに、広域交流を促進する延長約80kmの地域高規格道路である。 祖母島～箱島バイパスは、一般国道353号の通行の安全を確保するとともに、吾妻地域と県央部における医療施設間の患者搬送時間の短縮及び、関越自動車道へのアクセス向上による誘客の支援など地域活性化に寄与する道路である。				
H19年度事業化	都市計画決定なし	H22年度用地着手	H23年度工事着手		
全体事業費	91億円	事業進捗率	20%	供用済延長	0km
計画交通量	13,200～13,400台/日				
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 1.2 (残事業) 1.5	総費用 (残事業)/(事業全体) 65/83億円 事業費：61/80億円 維持管理費：3/3億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 100/100億円 走行時間短縮便益：159/159億円 走行経費減少便益：-64/-64億円 交通事故減少便益：5/5億円	基準年	平成23年
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> 国土・地域ネットワークの構築（地域高規格道路の位置付け） 個性ある地域の形成（観光地へのアクセス向上が期待される） 防災への備え（現道は第1次緊急輸送道路に指定されている） 安全で安心できるくらしの確保（三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる） 				
関係する地方公共団体等の意見	<ul style="list-style-type: none"> 渋川市ほか2市4町2村の首長や議会議長等で構成される「上信自動車道建設促進期成同盟会」より、当該路線の整備促進の要望を受けている。 				
事業評価監視委員会の意見	<ul style="list-style-type: none"> 群馬県公共事業再評価委員会(第32回 平成23年9月5日)において審議の結果「事業継続」が答申された。 知事は、上記委員会の答申を踏まえ平成23年9月16日「事業継続」の対応方針を決定。 				
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	<ul style="list-style-type: none"> 平成23年3月19日に北関東自動車道が全線開通したことにより、群馬県内の高規格幹線道路網が完成。 平成23年12月20日に上信自動車道の一部区間である八ッ場バイパス(L=10.8km)が全線暫定供用した。 				
事業の進捗状況、残事業の内容等	<ul style="list-style-type: none"> 平成19年度に事業化され、用地進捗率35%、事業進捗率20%となっている。 				
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	<ul style="list-style-type: none"> 計画の具体化にあたって地元住民や関係機関との合意形成に十分な時間をかけた。 今後も地元や関係機関との協力体制のもと、早期供用に向けて事業を推進する。 				
施設の構造や工法の変更等	<ul style="list-style-type: none"> 橋梁整備における新技術の活用や建設発生土の有効活用等、コスト縮減に努めている。 				
対応方針	事業継続				
対応方針決定の理由	<ul style="list-style-type: none"> 以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性・重要性は変わらないと考えられる。 				

